

質問書回答

2017年 9月 4日

「フィリピン国 アグリビジネス振興・金融アクセス強化プロジェクト(フェーズ1)【有償勘定技術支援】」
(案件番号:170607 公示日:2017年 8月 23日)について、質問の回答は以下のとおりです。

通番	当該頁項目	質問	回答
1	5頁、11頁 業務従事者(アグリビジネス) の経験、能力等	5頁の【業務従事予定者:担当分野 アグリビジネス】では「2」対象国又は同類似地域:評価せず]になっておりますが、11頁のプロポーザル評価表では「イ」対象国又は同類似地域での業務経験」の配点が2.00になっております。評価の有無と配点につきましてご教示いただけますと幸いです。	・5ページが正しく、11ページが誤りです。 11ページの評価表は3.(3)ア)10点 エ)5点 計15点となります。
2	6頁 第7見積もり価格及び内訳書	「各項目の()に○を付したものが、指示内容です。」とありますが、何れの項目にも○が付されておりません。正しい指示内容につき、ご教示いただけますと幸いです。	・本案件では指示の必要がない項目のためは付しておりません。
3	17頁 2) LBPのHARVEST実施体制	配布資料のOperational Policy Guidelinesの実施体制図(pg11 Figure 3)と、業務指示書の「HARVESTは、LBPの農業・開発融資部門の下にあるプログラム管理部1(Programs Management Department I (PMD1))内にプロジェクト管理室(Project Management Office、以下、「PMO」という。)を設置し、PMOが他の関係部署との連携により事業を実施する。[中略]また、環境社会配慮面での審査、手続き、サブローン貸付先への技術支援等は、環境プログラム管理部(Environmental Program Management Department (EPMD))が行う。」という記載が若干異なるのですが、どちらの記載に従ったほうがよろ	・PMOはPMD1内に設置される予定です。OPGの実施体制の図は、PMD1とEPMDが並列して描かれているので分かりにくくなっておりますが、PMD1のトップがPMOのProject Directorを務めることから分かるように、実態的にはPMOはPMD1にぶら下がる形になります。

通番	当該頁項目	質問	回答
		しいかご教示ください。	
4	18 頁 4)本業務の実施体制	「ARMM 及び紛争地域の活動にあたってはローカル人材の活用を想定し、見積もりに含めること」とあります。直営雇用(常勤、臨時含む)や再委託ローカルコンサルタントを活用する場合、どちらも別見積もりとして計上してよろしいでしょうか。	・直営雇用の場合は見積、再委託の場合でも P29 5.現地再委託の ~ 以外は見積に計上をお願いいたします。
5	22 頁、 (3)LBP に対する HARVEST 本体の運用・モニタリング強化 3-1)HARVEST 本体の運用支援(ア) 28 頁 3. フィリピン側による便宜供与	22 頁では「LBP 内では非常に限られたスペースしか確保できない可能性があることに留意する」、28 頁では「(2) LBP 本部における執務スペース(椅子、机、電話、インターネット含む)」と記載がありますが、現状でコンサルタントが使える執務スペースの部屋の床面積、椅子、机の数をご教示頂けますでしょうか。またその上で、机や椅子を追加した場合、何名のコンサルタントが最大常駐可能でしょうか。	・執務スペースの床面積は、9.48 m ² 程度。 ・想定される最大人数である 10 人は同時に常駐可能で、10 人分の椅子及び机等は LBP にて用意します。 ・なお、執務スペースの他にミーティングスペースの利用も可能となっています。
6	29 頁 7. 第三国研修にかかる見積もり	「第三国研修に係る費用については 447 万円を定額として見積もることとし、見積価格を提示する必要はない」とありますが、こちらは見積または別見積にて計上する必要がありますか。また、447 万円には、団員の渡航費、日当宿泊も含まれているという理解でよろしいかご教示頂けると幸いです。	・見積にて計上お願いいたします。 ・団員の渡航費、日当宿泊も含まれています。
7	配布資料 R/D	R/D ドラフト版に添付されている、Project outline の活動と PDM Version2 (16 May 2017)と PO の活動(特に Component A の成果 1 と 2)が一致していない部分がございます。指示書では PDM と PO の活動に沿って記述	・前者の Project outline の活動に合意しております(署名済み)。Project outline で追加されている活動については、以下のとおりご対応頂きますようお願いいたします。

通 番	当該頁項目	質問	回答
		<p>されているようですが、後者の活動が合意されたという理解でよろしいでしょうか。また、署名入りの R/D を共有いただくことは可能でしょうか。</p>	<p>R/D1-3.の第3国研修については、指示書 1 - 1)ア)に記載がございます。</p> <p>R/D2-3.の Corpotavie 設立に向けた地域及び農産品に係る分析については、指示書 2 - 1)ウ)で収集・整理するアグリビジネスに係るデータを活用の上、実施するようお願いいたします。</p> <p>よって、アグリビジネスに係るデータの収集、整備を実施する際には、R/D2-3.の分析に必要なデータも含めるようご留意下さい。</p> <p>・署名入りの R/D は、契約締結後に共有いたします。内容は配布資料と同じです。(<DRAFT> を削除したもので 2017 年 5 月 31 日付署名済み。)</p>
8	<p>28 頁、3.フィリピン側による便宜供与 (4)</p>	<p>カウンターパートの交通費・日当・宿泊費は見積もる必要がございますか？見積もる場合、本見積か別見積のどちらに計上すべきか、合わせてご教示ください。また、日当・宿泊費を見積もる場合は、フィリピン国の基準単価もご教示頂ければ幸いです。</p>	<p>・不要です。</p>
9	<p>28～29 頁、4.配布資料及び参考資料 1) アグリビジネス振興・金融アクセス強化プロジェクト R/D</p>	<p>R/D は署名が入っておりませんが、R/D は本内容で締結済みでしょうか。締結されていたら、署名入りの R/D を配布頂けないでしょうか。</p>	<p>・署名入りの R/D は、契約締結後に共有いたします。内容は配布資料と同じです。</p>

通 番	当該頁項目	質問	回答
10	業務指示書「第5. プロポーザルに記載されるべき事項」の「3. 業務従事予定者の経験、能力等」、(2) 評価対象業務従事者の経験、能力等」のうちの、「業務従事者: 担当分野 アグリビジネス」(P5)	P5 の「業務従事者: 担当分野 アグリビジネス」では、「対象国又は同類似地域: 評価せず」と記載されていますが、P11 の「プロポーザル評価表」の該当箇所(業務従事者の経験・能力: アグリビジネス)では、「対象国又は同類似地域での業務経験」の配点が 2 点となっております。どちらが正しいのでしょうか？	・ 1 と同様です。
11	14 ページ、5. (2) 紛争予防配慮の観点からの留意事項	本件においては、紛争予防配慮・平和の促進の観点の重要性が強調されていますが、本件においては、プロジェクトレベル PNA を実施することは求められるのでしょうか。	・ プロジェクトレベル PNA の実施は不要です。他方、指示書に記載のとおり、紛争予防配慮等の観点からの配慮・工夫をして頂ければと思います。

以上